



2019年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年9月30日

上場会社名	象印マホービン株式会社	上場取引所	東
コード番号	7965	URL	http://www.zojirushi.co.jp
代表者 (役職名)	取締役社長	(氏名)	市川 典男
問合せ先責任者 (役職名)	経理部長	(氏名)	岡本 茂久
四半期報告書提出予定日	2019年10月3日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2019年11月期第3四半期の連結業績 (2018年11月21日～2019年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第3四半期	59,589	△7.5	4,103	△21.1	4,381	△21.7	3,049	△18.6
2018年11月期第3四半期	64,426	△1.2	5,198	△14.2	5,597	△13.4	3,746	△10.7

(注) 包括利益 2019年11月期第3四半期 1,840百万円 (△43.8%) 2018年11月期第3四半期 3,273百万円 (△46.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第3四半期	45.12	—
2018年11月期第3四半期	55.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年11月期第3四半期	89,065	69,675	77.5
2018年11月期	91,647	69,746	75.4

(参考) 自己資本 2019年11月期第3四半期 69,059百万円 2018年11月期 69,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2019年11月期	—	13.00	—	—	—
2019年11月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年11月期の連結業績予想 (2018年11月21日～2019年11月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	△5.5	5,300	△15.3	5,600	△15.2	3,800	△14.3	56.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社 (社名) 、 除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年11月期3Q	72,600,000株	2018年11月期	72,600,000株
② 期末自己株式数	2019年11月期3Q	4,996,796株	2018年11月期	5,014,311株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年11月期3Q	67,594,427株	2018年11月期3Q	67,577,074株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境は改善傾向となり、設備投資の増加や個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、中国経済の減速や米中貿易摩擦の激化、中東情勢の緊迫化が懸念されるなど世界経済の不確実性の影響もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の中で、当社グループは、かまど炊きの特徴である炎の「ゆらぎ」を再現することで、釜内の対流を促進し、お米の甘みをより一層引き出す圧力IH炊飯ジャー『炎舞炊き』のモデルチェンジを実施いたしました。また、『炎舞炊き』の小容量タイプとして4合炊きサイズを新規投入し、『炎舞炊き』シリーズの販売拡大のための取り組みを積極的に展開するとともに、既存商品の販売にも注力いたしました。

製品区分別の概況は次のとおりであります。

調理家電製品につきましては、国内においては、炊飯ジャーは圧力IH炊飯ジャーが引き続き好調に推移したことに加え、第3四半期において『炎舞炊き』シリーズの小容量タイプを含む新製品を新規投入したことによる売上への寄与もあり、炊飯ジャー全体として売上が大きく伸びました。電気ポットは市場の縮小傾向もあり低調に推移いたしました。電気調理器具では、オーブントースターがほぼ前年並みの売上を確保したものの、ホットプレートやグリルなべの売上が前年実績を下回り、電気調理器具全体としては売上が減少いたしました。海外においては、炊飯ジャーは中国市場ではマイコン炊飯ジャーを中心に低調に推移し、その他の市場でも全般的に前年実績を下回りました。電気ポットは中国や台湾で売上が減少いたしました。その結果、調理家電製品の売上高は401億42百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

リビング製品につきましては、国内においては、市場全体の出荷数量減少もありステンレスマグが低調に推移し、飲み方を2通りから選べる2WAYボトルも売上が減少いたしました。また、保冷専用のステンレスクールボトルも夏場の天候不順などが影響し、前年実績を下回りました。海外においては、中国市場ではステンレスマグやステンレスフードジャーが低調に推移いたしました。また、その他の市場でもステンレスマグを中心に売上が減少いたしました。その結果、リビング製品の売上高は164億43百万円（前年同期比19.8%減）となりました。

生活家電製品につきましては、加湿器は新製品の投入効果もあり好調に推移したものの、ふとん乾燥機の売上が大きく減少いたしました。海外においては、台湾市場でふとん乾燥機や衣類乾燥除湿器が前年実績を下回りました。その結果、生活家電製品の売上高は16億45百万円（前年同期比18.4%減）となりました。

また、その他製品の売上高は13億57百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、国内では炊飯ジャーの売上が増加したものの、ステンレスマホービンなどが前年実績を下回り、海外においても景気が減速傾向となっている中国をはじめとして全般的に売上が減少したことが影響し、595億89百万円（前年同期比7.5%減）となりました。利益につきましては、国内では炊飯ジャーの売上が増加したものの、海外売上高の減少に加え、国内外でステンレスマホービンが低調に推移したことによる利益の減少がありました。さらには、海外生産品の原価上昇などによる利益率の低下もあり、営業利益は41億3百万円（前年同期比21.1%減）となりました。経常利益は43億81百万円（前年同期比21.7%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億49百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

・製品区分別売上高

製品区分	販売高(百万円)	前年同期比(%)
調理家電製品	40,142	△0.5
リビング製品	16,443	△19.8
生活家電製品	1,645	△18.4
その他製品	1,357	△13.7
合計	59,589	△7.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

・所在地別経営成績

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米	消去又は 全社	合計
売上高					
外部顧客に対する売上高	40,693	14,337	4,558	—	59,589
所在地間の内部売上高 又は振替高	7,803	4,621	1	△12,426	—
計	48,496	18,958	4,560	△12,426	59,589
営業費用	46,517	17,978	4,355	△13,365	55,485
営業利益	1,979	980	205	939	4,103

・地域別売上高

	日本	海外				計	合計
		アジア		北米	その他		
			内、中国				
地域別売上高 (百万円)	39,699	14,879	7,074	4,482	527	19,889	59,589
全体に占める割合 (%)	66.6	25.0	11.9	7.5	0.9	33.4	100.0

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が25億82百万円減少し、負債が25億11百万円減少しました。また、純資産は70百万円減少いたしました。その結果、自己資本比率は2.1ポイント増加し77.5%となりました。

総資産の減少25億82百万円は、流動資産の減少12億90百万円及び固定資産の減少12億91百万円によるものであります。

流動資産の減少12億90百万円の主なものは、現金及び預金の増加35億9百万円、受取手形及び売掛金の減少32億53百万円、電子記録債権の減少2億41百万円、有価証券の減少2億円、商品及び製品の減少6億28百万円、その他流動資産の減少4億85百万円であります。また、固定資産の減少12億91百万円の主なものは、建物及び構築物の減少1億1百万円、工具、器具及び備品の減少1億58百万円、ソフトウェアの減少3億38百万円、投資有価証券の減少9億87百万円、退職給付に係る資産の増加4億43百万円、その他投資の減少1億49百万円であります。

負債の減少25億11百万円は、流動負債の減少28億58百万円及び固定負債の増加3億46百万円によるものであります。

流動負債の減少28億58百万円の主なものは、支払手形及び買掛金の減少8億80百万円、未払費用の減少7億8百万円、未払法人税等の減少5億78百万円、賞与引当金の減少5億20百万円、その他流動負債の減少1億48百万円であります。また、固定負債の増加3億46百万円の主なものは、繰延税金負債の増加3億30百万円であります。

純資産の減少70百万円の主なものは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上30億49百万円、剰余金の配当の支払18億92百万円、その他有価証券評価差額金の減少6億18百万円、為替換算調整勘定の減少6億1百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね想定範囲内で推移しており、2019年11月期の連結業績予想につきましては、2019年7月1日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年11月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,202	30,711
受取手形及び売掛金	13,394	10,140
電子記録債権	1,479	1,237
有価証券	200	-
商品及び製品	18,538	17,909
仕掛品	235	209
原材料及び貯蔵品	2,527	2,562
その他	3,556	3,070
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	67,126	65,836
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,935	12,698
減価償却累計額	△10,994	△9,858
建物及び構築物（純額）	2,941	2,839
機械装置及び運搬具	3,592	3,668
減価償却累計額	△3,096	△3,135
機械装置及び運搬具（純額）	496	533
工具、器具及び備品	8,157	8,385
減価償却累計額	△6,256	△6,642
工具、器具及び備品（純額）	1,901	1,742
土地	7,432	7,430
リース資産	1	0
減価償却累計額	△1	△0
リース資産（純額）	-	0
建設仮勘定	38	41
有形固定資産合計	12,808	12,588
無形固定資産		
ソフトウェア	1,701	1,362
その他	154	151
無形固定資産合計	1,855	1,513
投資その他の資産		
投資有価証券	7,779	6,792
繰延税金資産	518	464
退職給付に係る資産	1,127	1,571
その他	457	308
貸倒引当金	△28	△9
投資その他の資産合計	9,856	9,127
固定資産合計	24,521	23,229
資産合計	91,647	89,065

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年11月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年8月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,159	7,278
未払費用	6,134	5,425
未払法人税等	678	100
賞与引当金	1,073	553
製品保証引当金	204	181
その他	710	561
流動負債合計	16,960	14,102
固定負債		
長期借入金	1,500	1,500
繰延税金負債	402	732
退職給付に係る負債	2,708	2,713
その他	330	341
固定負債合計	4,941	5,287
負債合計	21,901	19,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,022	4,022
資本剰余金	4,183	4,200
利益剰余金	59,098	60,256
自己株式	△969	△966
株主資本合計	66,335	67,513
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,269	1,651
為替換算調整勘定	883	282
退職給付に係る調整累計額	△390	△387
その他の包括利益累計額合計	2,762	1,546
非支配株主持分	648	615
純資産合計	69,746	69,675
負債純資産合計	91,647	89,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年11月21日 至 2018年8月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月21日 至 2019年8月20日)
売上高	64,426	59,589
売上原価	42,719	39,893
売上総利益	21,707	19,695
販売費及び一般管理費	16,509	15,591
営業利益	5,198	4,103
営業外収益		
受取利息	60	78
受取配当金	121	126
仕入割引	25	26
持分法による投資利益	226	143
受取ロイヤリティー	61	38
受取賃貸料	86	85
為替差益	41	-
増値税還付金	-	175
その他	135	93
営業外収益合計	759	768
営業外費用		
支払利息	8	5
売上割引	306	324
為替差損	-	135
その他	45	25
営業外費用合計	359	490
経常利益	5,597	4,381
特別利益		
固定資産売却益	0	1
受取保険金	-	72
その他	0	-
特別利益合計	0	73
特別損失		
固定資産除却損	10	32
投資有価証券評価損	-	27
特別損失合計	10	59
税金等調整前四半期純利益	5,587	4,396
法人税、住民税及び事業税	1,182	668
法人税等調整額	516	644
法人税等合計	1,698	1,313
四半期純利益	3,888	3,082
非支配株主に帰属する四半期純利益	141	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,746	3,049

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年11月21日 至 2018年8月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月21日 至 2019年8月20日)
四半期純利益	3,888	3,082
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△261	△618
為替換算調整勘定	△300	△631
退職給付に係る調整額	△22	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△30	3
その他の包括利益合計	△615	△1,242
四半期包括利益	3,273	1,840
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,167	1,834
非支配株主に係る四半期包括利益	105	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月21日 至 2019年8月20日)
「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。